

統合データベースプロジェクトの紹介

ライフサイエンス統合データベースセンター

大学共同利用機関法人 情報・システム研究機構

高祖 歩美

本日(6/23)の流れ

- 川本祥子 「カタログサービス・横断検索の利用法」



- 山本泰智 「文献関連サービスの活用法」



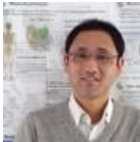
- お昼休み



- 坊農秀雅 「遺伝子発現情報を使い倒す」



- 三橋信孝 「BodyParts3D/Anatomographyの利用法」



- 山口敦子 「DBCLS Galaxyの利用法」



統合データベースプロジェクト

http://lifesciencedb.jp



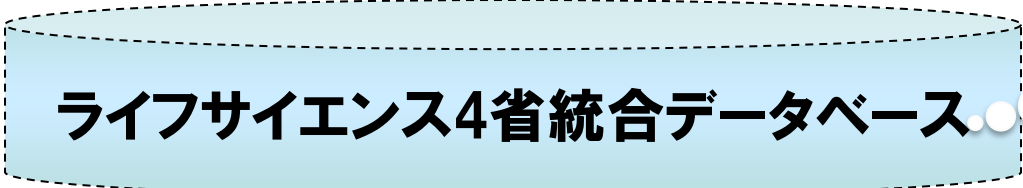
The screenshot shows the LSCDB website interface within a Windows Internet Explorer browser window. The browser's address bar displays 'http://lifesciencedb.jp/'. The website header features the LSCDB logo and the text '文部科学省委託研究開発事業 統合データベースプロジェクト'. Navigation tabs include 'ホーム', 'データベース', '検索', 'ツール', 'ダウンロード', and 'About us'. The main content area is titled '統合ホームページへようこそ' and includes a search bar with a '横断検索' button. Below this, there are several categorized sections: 'ポータル' (Portal) with links to various databases and tools; 'アーカイブ' (Archive) with links to DDB-JL and DDB-JL-Road archives; 'ツール & 解析サービス' (Tools & Analysis Services) with links to AnatoMog, Wired-Marker, MiGAP, and DBCLS Galaxy; and '基盤技術開発' (Basic Technology Development) with links to TogoDB, TogoWS, and OpenID. On the right side, there are two vertical boxes: '新着情報' (New Information) with recent news items and 'LSCDBブログ' (LSCDB Blog) with recent blog posts. The browser's status bar at the bottom shows 'インターネット' and '100%' zoom level.

生命科学のデータベースに関する10の課題

データベース整備戦略作業部会報告書（平成18年5月17日）

1. 長期的な視点に立ったDB戦略の充実
2. DBの所在や利用法の整備
3. データと文献情報の知識との連携
4. 統合されたDBのさらなる研究開発
5. 研究開発のための人材育成
6. データの意味づけ(アノテーション)の実施
7. 維持困難になったDBの受け入れ
8. 既存のDBの安定的な支援体制
9. 新規DB開発の安定的な支援体制
10. バイオインフォマティクスの研究開発を促進する体制

生命科学系データベースの将来像



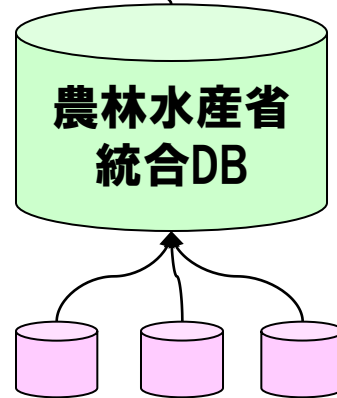
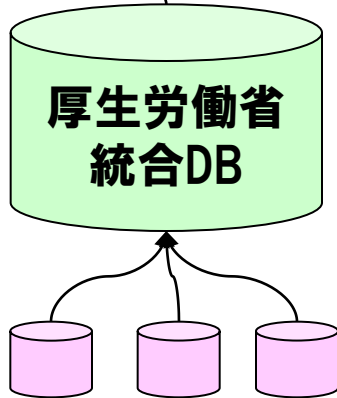
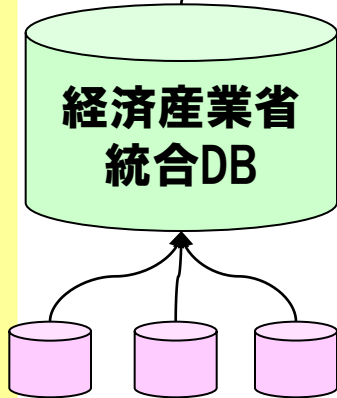
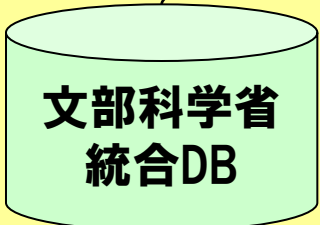
恒常的なDBの維持・管理に必要なリソースの確保策については今後の要検討事項

統合データベースプロジェクト

統合DB運営委員会による4省のDB統合化の検討

- 基盤DB支援
- データベースを利用した研究の促進
- 新たなデータベース構築への投資

JST-BIRD




アカデミック

産業利用

疾患

農林水産

課題解決に向けた取り組み

- 
- 文科省にて統合データベース整備事業の公募
中核機関として情報・システム研究機構 (ROIS) 採択
 - ROIS内にライフサイエンス統合データベースセンター設置
(平成19年4月)
 - 文科省「統合データベースプロジェクト」を16機関で実施
(平成23年3月まで)

生命科学のデータベースに関する10の課題

データベース整備戦略作業部会報告書（平成18年5月17日）

1. 長期的な視点に立ったDB戦略の充実
2. DBの所在や利用法の整備
3. データと文献情報の知識との連携
4. 統合されたDBのさらなる研究開発
5. 研究開発のための人材育成
6. データの意味づけ(アノテーション)の実施
7. 維持困難になったDBの受け入れ
8. 既存のDBの安定的な支援体制
9. 新規DB開発の安定的な支援体制
10. バイオインフォマティクスの研究開発を促進する体制

プロジェクトが
解決を目指す項目

運営委員会

ライフサイエンス、情報科学、ライフサイエンスDB有識者、各省代表者

中核機関

大学共同利用機関法人
情報・システム研究機構

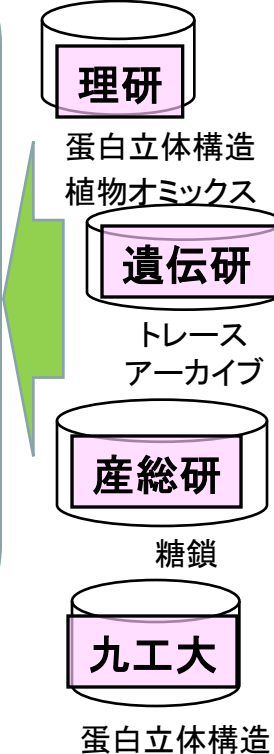
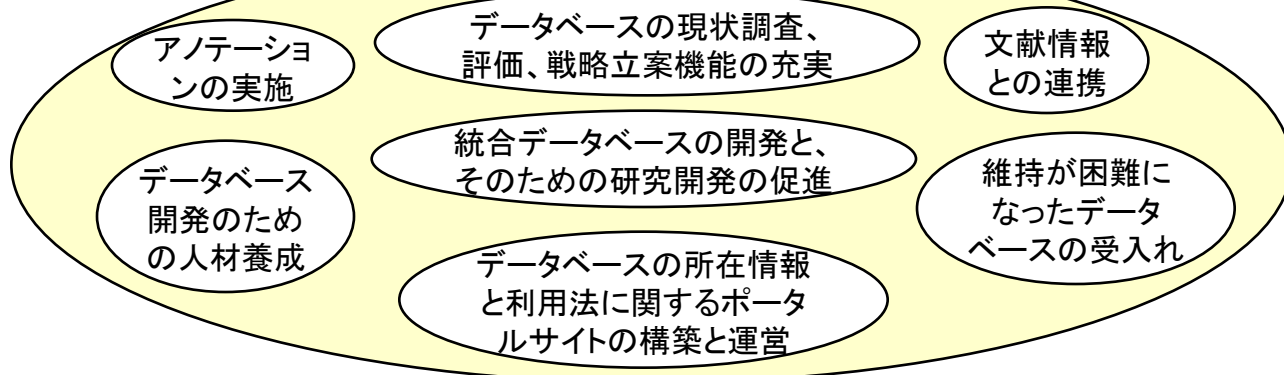
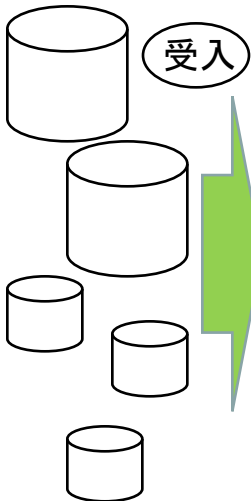
ライフサイエンス統合データベースセンター (DBCLS)

経産省
統合DB

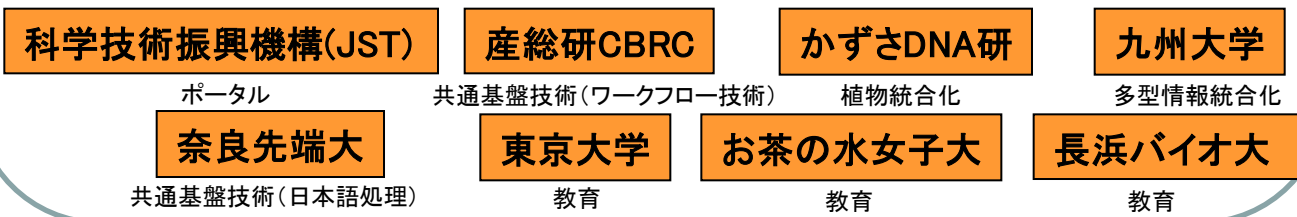
農水省
統合DB

様々なDB

補完課題DB



参画機関



分担機関



課題を解決するサービスや取り組みの事例

- | | |
|------------------------------|-----------------|
| 1. 長期的な視点に立ったDB戦略の充実 | データ共有のルール作り |
| 2. DBの所在や利用法の整備 | カタログサービス、統合TV |
| 3. データと文献情報の知識との連携 | 横断検索、Allieなど |
| 4. 統合されたDBのさらなる研究開発 | 発現、植物データの統合DB |
| 5. 研究開発のための人材育成 | 講習会の開催、教材提供 |
| 6. データの意味づけ(アノテーション)の実施 | MiGAP |
| 7. 維持困難になったDBの受け入れ | DBアーカイブ(DBの受入れ) |
| 8. 既存のDBの安定的な支援体制 | |
| 9. 新規DB開発の安定的な支援体制 | |
| 10. バイオインフォマティクスの研究開発を促進する体制 | |

「統合データベースプロジェクト」のこれから

総合科学技術会議 統合データベース タスクフォース報告書
<http://www8.cao.go.jp/cstp/project/bunyabetu2006/life/14kai/siryoy1-2.pdf>

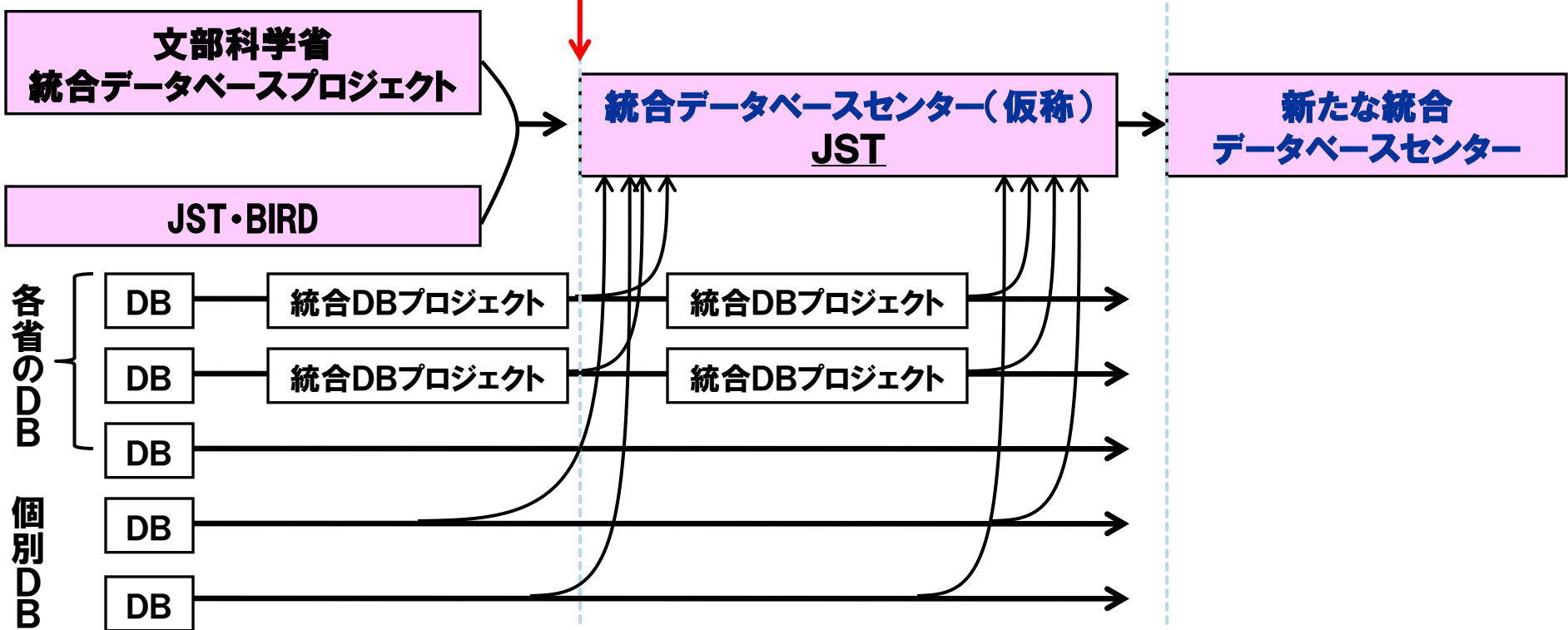
準備段階

第一段階

第二段階



平成23年
4月1日
一体化



ライフサイエンス統合データベースセンター (1)

- 大学共同利用機関法人 情報・システム研究機構に所属

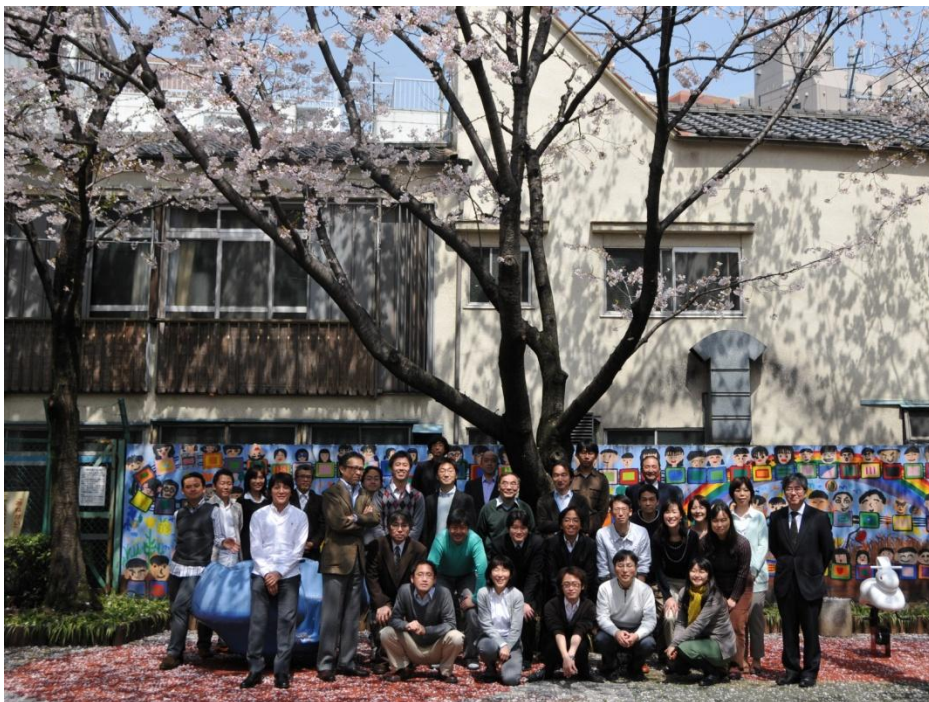


機構長： 堀田凱樹



ライフサイエンス統合データベースセンター (2)

- ・ 東京大学の構内にありますが、東京大学とは別の組織
- ・ 英語名称 DataBase Center for Life Science



スタッフ約40名 (2010年4月現在)

センター長: 高木利久

<http://dbcls.rois.ac.jp/>